

グリーンふくろう基金受賞団体紹介

折り紙ボランティア おりづる

平成15年度から社協のボランティア活動として始まったサークルで、現在は月に2回定例会で活動をされています。毎年、広島に千羽鶴を贈ったり、大鳳会館や布引運動公園の体育館などの公共施設に四季の飾りつけをしたりされています。

四つ葉のクローバー隊

平成22年から市内の特別養護老人ホームやデイサービス施設を対象に「懐メロをともに歌いましょう」と活動を開始され、現在は5施設を継続的に訪問しながら各地のイベントに出向かれ、1年に100回以上の活動をしておられます。

二胡演奏グループ 「二胡っ娘」

平成15年に活動を開始、平成22年に組織改革とメンバーの交代を機に「二胡っ娘」として再スタートし、現在は各地の老人会や病院、自治体のイベントなどで演奏をされています。

麦わら帽子

童謡や唱歌、昔懐かしい歌、元気になれる歌をアンサンブルで歌うグループで活動して11年目になるそうです。各地域の行事やサロン、病院やデイサービス施設でボランティアとして活動をしておられます。

川合寺町「桜画展」開催委員会

織田信長の九男の末裔である織田〇〇が生涯をすごした川合寺町として、生涯「桜」のみを画題としたそれらの作品群を、「織田の桜をもっと知ってほしい」との想いを実現するために「桜画展」を毎年開催しておられます。

NPO 東近江スポーツクラブ 楽苦備（らくび）

今年一月にNPO法人を設立され、「タグラグビー」の普及を通じて運動嫌いな子どもたちの気持ちを汲み取り、青少年育成やスポーツ文化の振興をめざされています。

平田ふくしのまちプラン実行委員会

自分たちの地区を住みよい地区にするために、まず「あいさつ運動」に取り組んでおられます。今年度からは住民の居場所づくりの検討を始めようとしておられます。

大塚歩花会

銭太鼓から始まりましたが、現在では南京玉すだれ、皿回し、手品、獅子舞に安来節など、さまざまな芸を披露されています。県内各地の老人ホームやケアセンター、老人会や敬老会などに積極的に出向かれています。

本の読み聞かせ語りボランティア「トトロの森」

平成14年より能登川の小学校で絵本の読み語りを始め、各学校や保育園などに広がっていきました。現在は図書館での紙芝居や老人施設などにも活動の場を拡げられています。